

# 中期事業計画概要

経営理念

岩手県信用保証協会は、積極的な「信用保証」ときめ細かい「経営支援」を通して、中小企業の金融円滑化と持続的成長を促し、地域経済の振興に貢献します。

ビジョン

中期事業計画  
(H30～H32)

私たちを必要としている中小企業とともに歩む課題解決のパートナーになります。

基本方針

「中小企業本位」 × 「役割と責任の自覚」

## 1. 積極的な信用保証

### 必要十分な信用供与

- ・利用企業者の多くが小規模事業者であり、その持続的発展のために十分な資金調達支援を行う。
- ・創業時、業績下降時などでは、資金調達が難しくなるため、当協会が必要十分な信用を供与し、事業の発展を支える。

### 魅力ある保証制度の創設

- ・人口減少、事業者の減少等の課題に対し、地方公共団体や金融機関等と認識を共有、連携しながら、女性の活躍、地域の課題、成長分野、技術革新等に対応する制度を創設する。

### 金融機関との協調、信頼関係の維持・強化

- ・「連携支援協調パッケージ」を活用し、金融機関との連携による中小企業への安定的な資金調達の支援を行う。
- ・金融環境の急激な変化の中においても、案件協議や会議等を通じ金融機関との対話を重視しながら信頼関係の構築に努める。

### ニーズに応えるためのプロセス等の見直し

- ・保証審査から決定に至るプロセス等について、保有データや過去の実績等から傾向を分析し、迅速かつ正確な保証を行うため効率化を図る。

### 職員の目利き力強化

- ・職員の企業の事業性を見る目を育むため、協会内の有資格者を活用するとともに、職員の自己啓発を奨励する土壌を育む。

## 2. 東日本大震災や台風等により被災した中小企業の復旧・復興支援

- ・東日本大震災や台風等の自然災害により被災した企業の復旧・復興に係る支援を継続的に行う。
- ・債権買取先や事業維持に苦慮している企業の実情を定期訪問により把握しながら、親身でかつ適切な支援を行う。
- ・債権買取先のエグジットファイナンスを希望する企業への支援を積極的に行う。

## 3. きめ細かい経営支援

### 企業の課題をともに考え、解決策を探る取組み

- ・企業が抱える悩みや課題を一緒になって考え、真因を導き出す。
- ・金融機関と支援方針を共有し、最適な支援メニューを提供する。
- ・経営サポート会議等により金融機関との調整を図り、課題解決のサポートを行う。

### 再生支援、再チャレンジ支援の充実

- ・中小企業再生支援協議会等と連携し、経営者保証ガイドライン等を適正に運用しながら再生支援に積極的に取り組む。

### 支援機関との連携

- ・企業からの経営の悩みや経営改善の相談の際に、各支援機関との連携を通じて、当協会がワンストップで課題解決に応じる体制を強化する。
- ・資金調達に不安を抱える企業に、金融機関を紹介する体制整備を行う。

### 支援基準等の見直し

- ・支援を希望している企業を当協会がしっかりとサポートし、支援の効果を上げるために、支援に当たっての基準、支援スキーム等の見直しを図る。

### 経営支援ノウハウの蓄積、マインドの醸成

- ・職員の経営支援に関するマインドを醸成するとともに、好事例や成果の出ない事例等を蓄積、分類の上、事例の情報共有による横展開を図る。

## 4. 地方創生の取組み

### ファンドの出資等

- ・地域のファンドへの出資等を通じて地方創生に一層の貢献を果たす。

### 創業支援の充実

- ・「創業支援パッケージ（いわてドリームパスポート）」を周知、浸透させ、創業計画の策定、計画のブラッシュアップ、資金調達、フォローまでの総合的な支援を行う。

### 事業承継支援の取組み

- ・企業ごとの多様な課題に対応するとともに事業引継ぎセンターや各種専門家との連携を図る。
- ・専門家派遣事業による「事業承継サポート」の活用を図る。

## 5. 早期期中管理

- ・金融機関とのヒアリングや連携による早期実態把握を行う。
- ・当協会支援メニューを活用しながらサポートを行う。

## 6. 適正な回収

- ・回収機会を失わないよう代弁後の初動の徹底と債務者の状況に応じた適正な回収に努める。
- ・事業を継続しながら返済を履行している債務者の再生支援や再チャレンジ支援等を推進する。
- ・効率的な求償権管理体制を整備する。

## 7. 広報活動の充実、認知度向上の取組み

- ・広報のあり方、内容等について、広報委員会で検討し活動を展開する。
- ・協会認知度向上に向け、業務説明会、セミナー等に積極的に参加しPRを行う。

## 8. 組織体制、職場環境の整備

- ・職員提案制度を推進し職員の改善意識の高揚を図り、業務の効率化を進める。
- ・ストレスチェック、職員満足度調査等を実施し、職員が健康で意欲をもって活躍できる職場環境の整備を行う。

## 9. 人材育成の体系化

- ・専門的なスキルを身につけるため中小企業診断士、信用調査検定等の有資格者の養成を計画的に行う。
- ・階層ごとの育成方針を明確化し、中長期的な視点で人材育成に取り組む。

## 10. コンプライアンス、反社会的勢力排除の徹底

- ・社会的規範・倫理・各種法令及び諸規程を遵守するための研修、啓蒙活動を行う。
- ・反社に関する研修等を行い、介入防止、排除を行う。

## 事業計画

(単位：百万円、%)

項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
保証承諾	83,000	82,000	80,000
保証債務残高	226,000	212,000	200,000
代位弁済	3,300	3,400	3,500